

4: 急性リンパ性白血病(ALL)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
今井 陽俊	札幌北榆病院	内科・血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
賀古 真一	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
加藤 春美	愛知県がんセンター中央病院	血液・細胞療法部
金森 平和	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
川瀬 孝和	広島大学病院	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
藤澤 信	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
水田 秀一	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
山本 久史	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科
政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究院	病態解析学分野
重松 明男	北海道大学病院	血液内科
伊藤 歩	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
千原 大	MD Anderson Cancer Center	Department of Lymphoma and Myeloma
三橋 健次郎	東京女子医科大学病院	血液内科
青木 淳	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
立花 崇孝	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科
篠原 明仁	東京女子医科大学病院	血液内科
水谷 元紀	愛知医科大学病院 内科学講座	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

4-1	「高齢者 ALL 患者に対する RIST の有用性と予後因子に関する研究」 PI: 金森平和
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
4-2	「Impact of donor sources on allogeneic stem cell transplantation for Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia in first complete-remission.」 PI: 西脇聡史
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
4-3	「急性リンパ球性白血病に対する軽減前処置造血細胞移植に関する後方視的解析および骨髄破壊的前処置移植との比較」 PI: 田中淳司
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)

4-4	「成人フィラデルフィア染色体陰性急性リンパ性白血病における第一寛解期自家移植と同種移植の治療成績の比較」 PI:加藤春美
<p>学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照)</p> <p>論文業績: Kato H, Kawase T, Kako S, Mizuta S, Kurokawa M, Mori M, Ohashi K, Iwato K, Miyamura K, Hidaka M, Sakamaki H, Suzuki R, Morishima Y, Tanaka J. Analysis of outcomes following autologous transplantation in adult patients with Philadelphia chromosome-negative acute lymphoblastic leukemia during the first complete remission. <i>Haematologica</i>. 2014;99(11):e228-30.</p>	
4-5	「Ph+ALL を対象とした造血幹細胞移植における予後因子解析」 PI:水田秀一
<p>学会発表:</p> <p>論文業績: Mizuta S, Matsuo K, Imai K, Nishiwaki S, Kanamori H, Ohashi K, Fukuda T, Onishi Y, Miyamura K, Takahashi S, Onizuka M, Suzuki R, Atsuta Y, Morishima Y, Kato K, Sakamaki H, Tanaka J. Pre-transplant administration of imatinib for allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients with BCR-ABL-positive acute lymphoblastic leukemia. <i>Blood</i>. 2014;123(15):2325-32.</p>	
4-6	「Impact of minimal residual disease at allogeneic stem cell transplantation and post-transplant tyrosine kinase inhibitor on Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia.」 PI:西脇聡史
<p>学会発表:</p> <p>西脇聡史、今井陽俊、水田秀一、大橋一輝、金森平和、福田隆浩、森慎一郎、長村登紀子、鈴木律朗、田中淳司 フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の移植成績における微小残存病変とチロシンキナーゼ阻害薬の影響の検討 第12回日本臨床腫瘍学会 OS1-1-1, 福岡、7月、2014年 Satoshi Nishiwaki, Kiyotoshi Imai, Shuichi Mizuta, Kazuteru Ohashi, Heiwa Kanamori, Takahiro Fukuda, Shinichiro Mori, Tokiko Nagamura-Inoue, Ritsuro Suzuki, Yoshiko Atsuta, Junji Tanaka Impact of MRD and TKI on allogeneic hematopoietic cell transplantation for Ph+ALL 第76回日本血液学会 総会 OS1-1-99, 大阪、10月、2014年</p> <p>論文業績:</p>	
4-7	「An analysis of allogeneic hematopoietic transplantation in adult patients with acute lymphoblastic leukemia in first and second remission.」 PI:今井陽俊
<p>学会発表: 論文業績:</p>	
4-8	「非全身放射線照射前処置が成人急性リンパ性白血病に対する同種移植の治療成績に及ぼす影響に関する研究」 PI:三橋健次郎
<p>学会発表:</p> <p>第37回日本造血細胞移植学会総会 (2015年3月神戸) 発表予定 成人急性リンパ性白血病に対する同種造血幹細胞移植における全身放射線照射とbusulfan/cyclophosphamideによる骨髄破壊的前処置の比較: 成人急性リンパ性白血病Working Groupによる後方視的解析</p> <p>論文業績:</p>	
4-9	「中枢神経浸潤陽性急性リンパ性白血病患者に対する同種造血幹移植成績の検討」 PI:重松明男
<p>学会発表: 論文業績:</p>	

3. 会議開催記録(2014年1月-12月)

日時	場所	会議内容
1月11日	東京	研究成果報告と新規研究の検討
7月5日	名古屋	研究成果報告と新規研究の検討

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014年12月末時点まで)

(740)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

いままでに英文論文6編が受理されております。

PhALL に関して二次調査を行わせて頂きました結果を水田先生が Blood に投稿しております。皆様のご協力に心より深謝致します。

今後は LSAG とも連携して化学療法と同種造血幹細胞移植との比較についても研究を進めて解析を行って行きたいと考えています。さらに照射、非照射レジメンとの比較や CNS 浸潤のある ALL 移植成績などについても検討する予定です。

その他、新しい研究の提案がありましたら、どんどんこの WG に参加してください。いつでもどなたでも大歓迎致します。